下呂温泉街サイン看板改修工事 仕様書

第 1 章 総則及び工事概要

1.1 工事の目的

本工事は、下呂温泉街に設置されている既存の矢羽根看板について、老朽化した表示板面の更新、支柱等の塗り直し、不必要な矢羽根及び看板本体の撤去・整理を行うものである。温泉街を訪れる観光客（インバウンドを含む）の周遊性・安全性を向上させるとともに、下呂市の歴史ある温泉街の景観に調和した美しく分かりやすい案内環境を再整備することを目的とする。

1.2 本工事の基本方針

【工事推進の基本方針】

① 全体の矢羽根看板板面内容の再検証と最適な案内体系（日本語・英語・多言語・ピクトグラム）の提案

② 既存矢羽根看板の板面作り変え（新デザインへの交換・高耐候性仕様）

③ 継続利用する支柱・フレームのケレン作業及び再塗装（下呂市景観ガイドライン準拠色）

④ 案内目的地変更や重複等による不要な矢羽根単体の安全な取り外し・撤去

⑤ 設置場所変更や案内機能喪失に伴う不要な矢羽根看板構造物全体の撤去及び路面復旧

第 2 章 工事内容及び施工要件

2.1 主要工事内容の一覧

項目	対象	施工・対応要件
① 矢羽根板面の内容提案	温泉街全域の矢羽根	現地調査に基づき、各交差点・分岐点における誘導ターゲット、表記内容、多言語表示、ピクトグラム等を最適化したデザイン・レイアウトプランを提案すること。
② 板面の作り変え・新規製作	再利用対象の既存矢羽根	提案承認後、高耐候性アルミ複合板（インクジェット印刷＋耐候 UV ラミネート＋反射加工）にて新規板面を製作し、既存フレーム等へ確実に固定・更新すること。
③ 支柱・フレームの再塗装	継続使用する看板構造物	既存支柱・フレーム等の素地調整（旧塗膜剥離・ケレン処置・錆止め塗装）を行った上、下呂温泉街の景観指定色（指定アースカラー等）にて高耐候塗装を実施すること。
④ 不要矢羽根の板面撤去	案内不要となった矢羽根板	目的地廃止・位置関係の適正化等により不要となった特定の矢羽根板のみを取り外し、撤去・処分すること。取付用アタッチメント部の補修処置を行うこと。
⑤ 看板全体の撤去・復旧	不要となった看板構造物全体	看板自体が不要となった箇所について、支柱・基礎を含めて安全に撤去・解体し、撤去跡地（舗装面等）を原状に補修・復旧すること。

2.2 板面デザイン及び内容提案に関する詳細要件

受注者は、契約後速やかに下呂温泉街における既存矢羽根看板の現況調査を実施し、以下の要件を満たす「矢羽根板面再整備計画提案書（デザイン案含む）」を発注者に提出し、協議・承認を得なければならない。

- 【案内系統の一貫性・論理化】

温泉街の周遊動線（下呂駅、湯の街通り、阿多野通り、湯の山街道、各足湯、主要観光施設、公共駐車場等）に沿って、各看板における誘導目的地の選定と記載優先順位を整理すること。

- 【多言語表記及び視認性向上】
  日本語表記に加え、英語等の表記を標準化すること。JIS 規格ピクトグラム及び UD（ユニバーサルデザイン）フォントを採用し、観光客の視認性・判読性を高めること。
- 【下呂市景観計画との調和】
  下呂温泉街の情緒豊かな景観に配慮し、背景色・文字色・枠線等は過度に奇抜な配色を避け、指定された色彩基準（落ち着いたトーン・アースカラー等）を順守すること。
- 【板面寸法・形状の統一】
  既存矢羽根フレームの規格寸法に合致した形状で製作し、両面表示又は片面表示の仕様を適切に設計すること。

2.3 塗り直し（再塗装）及び材料要件

- 【素地調整（ケレン作業）】
  既存支柱・金物類の錆、浮き塗膜、油脂分等をワイヤーブラシ・サンダー等を用いて完全に除去し、塗装下地を適正に調整すること。
- 【下塗り及び仕上げ塗装】
  防錆力に優れた下塗り塗装（エポキシ樹脂系錆止め等）を施した上、耐候性・耐 UV 性に優れたシリコン樹脂またはウレタン樹脂塗料にて上塗り塗装（2 回塗り以上）を行うこと。
- 【板面材料仕様】
  板体は厚さ 3mm 以上のアルミ複合板を使用し、表示面は屋外耐候性 5 年以上の超耐候性インクジェットシート＋UV カットラミネートフィルム（反射機能付）仕様とすること。

2.4 不要矢羽根及び看板構造物の撤去・復旧要件

- 【不要矢羽根（単体）の撤去】
  指定された不要矢羽根板を取り外す際、残存する支柱・取付ブラケットに損傷を与えないよう施工し、取り外し後の接合部は防錆処理及び防水処置を行うこと。
- 【矢羽根看板（構造物全体）の撤去】
  支柱を根元より撤去する場合、地中基礎部分まで適正に撤去するか、あるいは道路管理者の指示に従い指定高さで切断後、安全な頭部保護処理を行うこと。
- 【路面・敷地の原状復旧】
  基礎撤去後の埋戻しは、クラッシャーラン等で確実に転圧を行い、既設道路（アスファルト舗装、コンクリート舗装、石畳等）と同等の材料にて平坦かつ美観を損なわないよう穴埋め・復旧を行うこと。
- 【産業廃棄物の適正処理】
  撤去した旧板面、支柱、コンクリートガラ等は、産業廃棄物処理法に基づき適正に処分し、マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写しを発注者に提出すること。

既存矢羽根看板「全体数量（矢羽根看板 51 基）詳細は別紙」

第 3 章 現場安全管理及び施工上の留意事項

下呂温泉街は道路幅員が狭小な区間が多く、観光客や温泉宿泊客の通行が多いため、施工にあたっては以下の安全対策・第三者災害防止措置を徹底しなければならない。

【現場施工管理の遵守事項】
・作業場所にはカラーコーン、誘導標識、保安員を適切に配置し、歩行者及び車両の安全通行を確保すること。
・温泉街の店舗・旅館・近隣住民の営業及び通行の妨げとならないよう、事前周知および作業時間帯の調整を図ること。
・高所作業、塗料飛散防止（養生シート設置）、切断火花防止対策を徹底すること。

第 4 章 成果品納入及び著作権等の帰属

4.1 提出成果品

受注者は工事完了後、速やかに以下の成果品をとりまとめ、発注者に納入しなければならない。

成果品名	数量・形式	内容・要件
看板配置・台帳データ	1 式（Excel / PDF）	改修対象となった矢羽根看板の位置図、番号、新旧対比写真、施工内容一覧台帳
矢羽根デザイン原データ	1 式（CD-R 等 / AI 形式）	作成した全矢羽根板面のグラフィックデータ（Adobe Illustrator アウトライン済及び生データ）
工事写真集	印刷本 1 部 / データ 1 式	着工前・施工中・完成・撤去・復旧の各段階をわかりやすく記録した写真集
産業廃棄物管理票	1 式（写し）	撤去廃棄物の適正処理を確認できるマニフェスト（A～E 票）

4.2 著作権及び知的財産権の帰属

本工事において受注者が作成・納入した矢羽根看板デザインデータ、図面、イラスト、写真等の著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む）並びに一切の知的財産権は、納品完了をもって発注者（下呂市）に無償で完全譲渡・帰属するものとする。受注者は、発注者に対して著作者人格権を行使しないものとする。